

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 墓地施設整備事業	
区分	番号	名称	
章	2	自然とともに暮らすまち	
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり	
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出	
小分類	5	葬斎場・墓地の整備	
主要な施策	2	墓地の整備	
事務事業番号	004	事務事業コード 22152004	事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名 墓地施設整備事業
部 名	市民生活部	グループ名	市民サービス G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 墓地内の景観を図るとともに、墓参者の安全確保及び利便性を向上させるため、整備を行う。
手段(事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 【整備内容】 (1) 敷地内道路舗装改修 富浦墓地の敷地内道路の一部について、整備及び舗装等改修を行うとともに、機能していない排水設備の改修を行う。 ・ 施工延長 L = 7 9 . 6 m ・ 施工幅員 W = 5 . 0 m (2) 土盛一部撤去 旧火葬場駐車場及び富浦墓地の境界にある土盛りの一部を撤去し、車両及び墓参者用通路を整備することで、旧火葬場駐車場を墓地駐車場として利用する。 ・ 施工延長 車道 = 9 . 2 3 m、歩道 = 1 0 . 8 8 m ・ 施工幅員 車道 = 5 m、歩道 = 3 m (3) 法面改修 芝生の枯れや土の流出により、景観が損なわれている法面に階段を設置する。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 各工事が完了してことで、墓地内の景観を図るとともに、墓参者の安全確保及び利便性を向上させることができた。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移		単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
成果指標	事業の進捗率	%	目標値	100				
			実績値	100				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称 地域活性化・きめ細かな臨時交付金	千円	5,229					0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円						0
合 計			5,229	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	13	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		13	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市が管理している墓地であることから、市が事業主体となって実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 墓地内の景観を図るとともに、墓参者の安全確保及び利便性を向上させることができた。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 平成22年度で事業が終了した。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 平成22年度で事業が終了した。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成22年度で予定していた工事が完了し、墓地内の景観を図るとともに、墓参者の安全確保及び利便性を向上させることができた。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）